



3年生版



通級教室だより 2021 Feb.

とうとう3年生は卒業まで後少しですね。校舎が離れてしまうとなかなか顔を見ることが少なくなりますが、久しぶりに見ると背が高くなっていたり、顔つきが大人になっていたりと、君たちの成長を見るのは嬉しい限りです。

そしていよいよ受験ですね。『不安だ。』『おちたらどうしよう。』『先を考えて眠れない。』『友達がかしいのに、私はできない。』などの言葉を3年生から聞くことが増えました。もちろん先の事を考えて不安になることもあると思います。

でも、やっぱり大事なのは **今です**。『今でしょ!』の林先生がいつも受験生に言う言葉があるそうです。『受験前の1か月どう過ごすかによって人生が変わる』と。

- ① 1か月必死で勉強する⇒ 合格する
- ② 1か月適当に過ごす ⇒ 合格する
- ③ 1か月必死で勉強する⇒ おしくも不合格
- ④ 1か月適当に過ごす ⇒ 当然不合格



この4パターンのタイプがいます。ここで一番人生において損をしている人はどのパターンでしょうか？ 答えは②番です。きっと人生の中で、大半の人が一番勉強する時期は中学3年生の今の時期だと思います。大学受験する人はその時かもしれません。この時期に1か月必死で頑張れる人は3か月頑張れます。3か月頑張れる人は1年頑張れる。1年頑張れる人は一生頑張れる。と林先生はおっしゃっていました。そんな簡単にはいかないこともありますが、ただこの1か月必死で何かに向かって一生懸命進めた人は、自分もやったらできるんだという事に気づきます。もちろんどんなに頑張っても、結果が報われない時も人生にはあります。ただ、この何かに一生懸命向かった自分の自信や、費やした時間は相当な価値があります。結果がすべてだと言う人もいますが、結果がでるのは高校の合否ではなくもっともっと先の話しです。

☆生き方や考え方が顔を変える。

『生き方は顔に出る』などによく言われます。年をとるにつれて良い顔になる人、またその逆もありますよね。どうしてなのでしょう？

倒れるときは前めり
やるだけやっちなえ。



人相心理学の先生によると・・・

マイナスな言葉ばかり言っている人は口角が下がり、目が沈みます、どんな美人も男前も印象は悪くなります。

目的に向かって一生懸命努力している人たちの顔をみたことありますか？

本当にかっこいい顔をしているし、美しい人間の姿だなあとと思います。

今3年生で通級に放課後勉強しにきてくれている生徒がいます。自分で進路を決めて難関な高校に挑戦している姿を私は心からかっこいいと思っています。だからこそ全力で応援したいと思っています。一生懸命な姿は周りの人を動かす力を持っています。自分が学ぶことの楽しさを知ること、頑張れる自分に出逢うこと。これが受験前の期間、一生懸命努力することの意味だと思います。

うだうだと先のことを考えて、じっとしている暇があったら動きだしましょう。スマホ（持っている人）は見えないところに置きましょう。ゲームをするのをやめてみよう。いろんな誘惑を我慢してみましょう。周りと比べるのをやめてみよう。他人の言葉に流されないで、自分の力を信じてみよう。きっとみんなの知らない自分に出会えると思います。人はいつからでも変われます。今が最後のチャンスではないけれど、きっと今が最初の変われるチャンスかもしれません。

今、頑張った事というのはいつか未来の自分へのプレゼントとなって返ってくることでしょ。

やり切ることに意味がある。やり切ってはじめて終わりが始まりになるんだよ。

どれだけやって、やりぬくか。「あの時、ああしてれば良かったな」なんてのは、まったく次につながらない。ジャスト後悔、何も生まないよ。

「頑張る」なんてのは誰にでもできる。要は「頑張りを抜くか」どうかだろ。

なぜ絶対と言い切れるか？ とても単純な話オレは出来るまでやめない。だから絶対出来るんだよ。

通級教室 井本 綾子

自分 vs 自分